

バーコード生成方法とバーコード検証の設定

バーコード生成の設定

バーコード生成を設定するには、次のいずれかの役職が必要です。

- リポジトリ管理者
- 統括システム管理者

バーコードは各アイテムに付与される固有の識別子です。バーコード生成の実装を選択した場合、バーコードカウンターシーケンスを設定できます。バーコードカウンターシーケンスを設定すると、Almaの次の領域でバーコードを生成することができます。

- 冊子エディタ (詳細については、[冊子レベル情報をアップデートする方法](#) を参照)
- 新しい冊子の追加 (詳細については、[新しい書籍または雑誌論文の追加](#) を参照)
- オーダーの作成 ([バーコードの自動生成](#) を参照)
- 処理中アイテムの管理 ([バーコードの生成](#) を参照)

自動バーコードカウンターシーケンスを設定する方法

1. [バーコード生成設定] ページ ([設定メニュー>リソース>一般>バーコード生成]) で、以下のパラメーターの説明に関するテーブルを使用して、バーコード生成(シーケンスの作成)のパラメーターを完了してください。

Library	Sequence Name	Method	Prefix	Next Sequence	Padding	Default
1	default_institution	Prefix + Sequence	A	13668	-	Yes

Create a New Sequence

Library:

Sequence Name:

Sequence Start:

Method:

Prefix:

Padding:

バーコード生成設定ページ

バーコード生成パラメータ

パラメータ	説明
-------	----

図書館	<p>図書館レベルのバーコードカウンターシーケンスを作成する場合は、ブラウザアイコンを選択して、[組織単位リスト] ページからライブラリを選択します。機関レベルのバーコードカウンターシーケンスを作成する場合は、このパラメーターを空白のままにします。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>ある図書館に対して最初に設定した図書館レベルのバーコードカウンターシーケンスが、その図書館のデフォルトとして識別されます。同じ図書館に対して1つ以上の追加の図書館レベルのバーコードカウンターシーケンス設定を作成する場合、デフォルト設定は [いいえ] にセットされています。行アクションの [デフォルトとして設定] (以下を参照) を使用して、図書館レベルのバーコードカウンターシーケンスのデフォルトを変更します。バーコード生成に複数の図書館を選択した場合、デフォルトとして設定できる図書館は1つだけであるため、[デフォルトとして設定] オプションは使用できないことに注意してください。</p>
シーケンス名	<p>複数のバーコードカウンターシーケンスを使用できるため、このパラメーターを使用して、設定する各シーケンスを識別するのに役立つシーケンス名を入力します。</p>
シーケンス開始	<p>開始するシーケンス番号。Almaは最大28桁のシーケンスを生成することができます。冊子のバーコード生成の詳細については、冊子のアイテムレベル情報をアップデートする方法の手順を参照してください。</p>
方法	<p>「Prefix + Sequence」方式は、バーコードが「Prefix」パラメータで指定された値で始まり、その後に関連が続くことを示します。</p>
プレフィックス	<p>バーコードシーケンスの接頭語。この接頭語は、自動的に生成するシーケンス番号に先行します。</p> <hr/> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 同じ接頭語を複数回使用することはできません。 ◦ 異なる場合でも、数字のみの接頭語は複数回使用することはできません。
パディング	<p>シーケンス番号の文字単位の全長。パディングで指定した長さになるよう、シーケンス番号に0が追加されます。したがって、例えばパディングが6で接頭語がUNIの場合、シーケンス番号555はバーコードUNI-000555に変更されます。</p>

2. [行を追加] を選択します。作成したシーケンスがシーケンスリストに表示されます。
3. 作成する行ごとに、次のアクションを使用して、バーコードシーケンスカウンターの設定を変更することができます。
 - 編集
 - 次のシーケンス値をセット
 - デフォルトとしてセット

Note

デフォルトは機関ごと、図書館ごとにそれぞれ一つずつとなります。

。 削除

4. 終了したら、[保存]を選択してください。

バーコード検証の設定

Almaのバーコードは、フォーマットと固有値が検証されます。検証中に固有でないバーコードが検出されると、Almaは [リソース管理] の [その他のセッティング] から [generate_unique_barcode_max_retries](#) パラメーターに指定された最大回数まで固有のバーコードを生成することを試みます。詳細については、[その他の設定 \(リソース管理\)](#) を参照してください。

[クイック目録] ページで、バーコードフォーマットが無効な場合、エラーが生成され、ページを送信することはできません。[冊子エディタ] など他の場所では、バーコードフォーマットが無効な場合、警告メッセージが生成されます。ユーザーは無効なバーコードで続行するか確認できます。

Note

[メタデータエディター] を使用して無効なバーコードを入力した場合、検証は実行されません。

アイテムがインポートされると作成/保存され、結果として生じるバーコード検証警告メッセージはインポートリポートに保存されます。

Almaがサポートするバーコードフォーマット検証手順のリストはマッピングテーブルにあり、機関向けにEx Librisが管理しています。このリストを設定するには、Ex Librisサポートにコンタクトしてください。

検証手順は有効または無効にすることができます。有効な手順は、バーコードが検証されるか、リストにこれ以上の手順がなくなるまで、リストのオーダーでテストされます。

利用可能な検証手順は次のとおりです。

- コーダバー**13** - 見る <https://en.wikipedia.org/wiki/Codabar>.
- 接頭語 + シーケンス

Note

空のバーコードが許可されている場合、空の値はフォーマットまたは固有値に関して検証されません。
